



えずこホール 20周年記念事業

# えずこせいじん

2016.7.8-2017.3.4 SAT-5 SUN  
<http://www.ezuko.com/20th/SEIJIN/>

# 博覧祭



スーパーバイザー：藤浩志（美術家）

せいじんは、よく観る。よく聴く。そして深く感じ、考える。困難と窮地を武器に変え、磨き上げ、強い意志を持ち、人生をかけて本気で取り組む。せいじんの種は地域に無限に眠っている。それが芽吹き開花するか、埋もれてしまうか、それは環境によって変化する。遺伝子に潜むせいじんの種を芽吹かせ、開花させることができるとすれば、それほど幸せなことはない。様々な能力の種が育つ環境はどのようにつくられるのか。えずこホールが行ってきた活動は人が幸せへ向かう環境づくりと言えるのかもしれない。それを探るための博覧祭、せいじんおめでとう。

開催期間：2016.7.8～2017.3.4-5 開催場所：えずこホール（仙南芸術文化センター）、仙南2市7町各所

お問い合わせ：えずこホール（仙南芸術文化センター）TEL. 0224-52-3004 Mail. info@ezuko.com

主催：えずこ芸術のまち創造実行委員会 えずこホール（仙南芸術文化センター）仙南地域広域行政事務組合教育委員会（宮城県柴田郡大河原町字小島 1-1）



平成28年度文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業

\*このモザイク画は、えずこホール20年間の事業記録写真で構成されています

# 博覧祭プログラム - 仙南地域ではすでにせいじんたちの活動が展開し

歌って踊ろう!! 真夏の大ミュージカル! ヤッホホイ!

日時:7月16日(土)~18日(月・祝)、23日(土)・24日(日) / 会場:仙南地域広域行政事務組合講堂 / えずこホール平土間ホール / 参加料:500円 / 対象:小学3~6年生

演劇家・柏木陽と音楽家・片岡祐介による音楽と演劇をたっぷり楽しむ5日間。子どもたちのセリフが弾け、子どもたちの音楽が踊りだす、インスタント・オリジナルミュージカルの出来上がり!



## ISOPP WORLD

日時:7月26日(火) / 会場:柴田町船岡放課後児童クラブ(柴田町船岡小学校体育館) / 参加料:無料

ダンスの元・世界王者の ISOPP のすべてが味わえるスペシャルな1日。ヒューマンビートボックス、ヒップホップダンス、グラフィティといった ISOPP が得意とする多彩なプログラムをまるごと体験できる特別企画。



## えんげき絵本

日時:①9月5日(月)・7日(水)、②9月20~21日(火・水) / 会場:①七ヶ宿町関保育所、グループホームこもれびの家七ヶ宿、②村田保育所 \*関係者のみ

①~七ヶ宿絵本の旅~絵本の世界を子どもたちと演劇家・柏木陽と一緒に作りあげる「えんげき絵

本」。緑豊かな七ヶ宿町にある関保育所の子どもたちが創作した作品を、高齢者福祉施設で発表します。②~村田 絵本の旅~村田保育所の年長さんと作品作り。楽しい楽しい「えんげき絵本」をお誕生日会で発表します。



## あずなびあまつり~えずこ・はねっこ全館かえっこ

日時:9月19日(月・祝) 11:30~16:00 / 会場:えずこホール(仙南芸術文化センター)、はねっこアリーナ(大河原総合体育館)

あずなびあ(視聴覚教材センター)とえずこホールの共同企画。恒例のかえっこバザール開催。思い切り遊べるブース、コーナー満開。みんな、いらなくなったおもちゃをもって集まれ!



## さとうたけし live paint ~アーツ・イン・エデュケーション~

日時:9月21日(水)・29日(木) いずれも 10:30~11:40 / 会場:角田支援学校白石校 \*関係者のみ

絵筆代わりにローラーを手に、圧倒的テクニックで短時間にライブペイントを仕上げるさとうたけしが、学校に通い、子どもたちと交流しながら一緒に創造的な作品を作り上げます。



## えんそくひろば ~はじめての電車~

日時:10月6日(木) 9:30 角田駅集合 / 会場:角田~槻木駅間 / 参加費:700円(あぶきゅう乗り放題) 未就学児無料

ローカル線あぶきゅうに乗って、アーティストと一緒にちょっとそこまでお出かけ。ガタン、ゴトン、どきどき、わくわく新世界。



## あぶきゅうでいく 大人のさんぽ

日時:10月6日(木) 13:15 角田駅集合 / 会場:角田~あぶくま駅間 / 参加費:700円(あぶきゅう乗り放題)

阿武隈急行線に乗って新しい地元を発見する旅へ。電車内でアーティストと一緒に演奏、寸劇。いつもと違う駅に降りて旅の思い出作り。ゆっくりゆったり大人のさんぽ。



## 野点 in せんなん

日時:10月19日(水)・23日(日) 11:00 位~日暮れまで / 会場:19日:岡駅前(角田市) 23日:筆甫マリア観音堂前(丸森町) / 参加料:1,500円(お茶碗代)・300円(お茶席代)

京都在住の陶芸家・美術家「きむらとしろうじんじん」と一緒に野点(のだて)をしよう。その場でMy茶碗を作って、おいしいお茶をのもう♪



## 佐藤屋であいましょう

日時:11月4日(金)~6日(日) 10:00~16:00 / 入場料:無料 \*5日は17:00から「さとうたけしキャンドルナイト・パフォーマンス(ディナー付き 2,000円)」 / 会場:佐藤屋(大河原町)

大河原町にある旧家「佐藤屋」、ロマンあふれる素敵な空間で、さまざまな地元のアーティストが会います。絵画、書、音楽、色とりどりの描写が私たちに語り掛けます。



## えずこシアター里帰り公演

〈パンチチーム〉  
日時:11月26日(土) 11:00 / 会場:かくだ田園ホール(角田市) 日時:11月26日(土) 15:30 / 会場:パンとケーキの店「ブローチ」(角田市)

〈ギターチーム〉  
日時:2017年2月4日(土) 11:00 / 会場:大河原商業高等学校(ギター部部室) \*関係者のみ 日時:2017年2月5日(日) 11:00 / 会場:大河原町世代交流いきいきプラザ

〈こけしチーム〉  
日時:11月23日(水) 11:00 / 会場:白石市弥治郎こけし村本館(白石市) 日時:11月23日(水・祝) 15:30 / 会場:川崎町山村開発センター(川崎町) いずれも入場料無料

地域の人たちを取材し、えずこシアター風に舞台を創作。えずこ

ていた-

ホールで上演した後、「パン」「ギター」「こけし」の3チームに分かれて里帰り公演を行います。まだ出会えぬ人たちを探し求め、旅は続く。



えずこせいじんcafe

日時：不定期開催 / 会場：えずこホール・バーカウンター前

「つどう、えずこ」誰でも参加OK。フリースペースで自由に集い、パフォーマンスを楽しみながら、新たな発見、可能性と出会う、人々の輪を広げる自遊空間。お茶と軽食があればおしゃべりも弾む♪



えずこせいじんモンゲンズ

日時・会場：調整中

「門限ズ」=遠田誠(ダンス)+倉品淳子(演劇)+吉野さつき(コーディネーター)+野村誠(音楽)、仙南エリア各所で、路上パフォーマンス、参加型パフォーマンス、ワークショップを展開します。中身は観てのお楽しみ。

## 参加アーティスト - 仙南にやっ



藤 浩志 (美術家)

京都市立芸術大学大学院美術研究科修了後、パプアニューギニア国立芸術大学講師。パングラデシュビエンナーレ(グランプリ受賞)、サイトサントフェビエンナーレ(米)、瀬戸内国際芸術祭等の国際展の出品をはじめアジア各地、国内のアートプロジェクトへの参加多数。秋田公立美術大学教授。



野村 誠 (音楽家)

作曲家、鍵盤ハーモニカ奏者、

ピアニスト。最近のプロジェクトに、ドキュメンタリー・オペラ「復興ダンゴ」(2012)、東南アジアでの「原発」に関する共同作曲(2013)、瓦を楽器とする「瓦の音楽」(2013-)がある。現在、日本センチュリー交響楽団コミュニティプログラムディレクター。千住だじゃれ音楽祭音楽監督。



倉品 淳子 (俳優・演出家)

劇団山の手事情社所属。主な作品は『道成寺』(東京公演)、『オイディプス王』(ルーマニア/シビウ国際演劇祭)など。2004年から東京、神奈川、福岡などで演出家として活動。シニア、障がいのある人など、バラエティにとんだ人たちと演劇を作っている。2007年よりえずこシアターを指導。桜美林大学非常勤講師。

# せいじん祝賀会

えずこせいじんになりました

ライブパフォーマンスシンポジウムコンサート  
2017年3月4-5日(土日) 10:00~15:00(予定)

会場：えずこホール(仙南芸術文化センター)  
参加費：1,000円(2日間通し)



えずこホール 20年の集大成。パフォーマンス、展示、上映、フォーラムなど。さまざまなえずこせいじんが繰り広げる、交流、創造、祝祭の二日間。

【参加予定アーティスト】藤浩志(美術家) / 野村誠(音楽家) / 倉品淳子(演劇家) / 柏木陽(演劇家) / 片岡祐介(音楽家) / ISOPP(ダンサー・振付家) / 楠原竜也(振付家・ダンサー) / 山田うん(振付家・ダンサー) / 神谷未穂(ヴァイオリニスト) / 田村緑(ピアニスト) / 中川賢一(ピアニスト) / 岩淵吉能(俳優) / きむらとしろうじんじん(陶芸家) / さとうたけし(ペイントアーティスト) / 上田 假奈代(詩人・詩業家) / 安富歩(東京大学 東洋文化研究所 教授) / 泉山朗士(映像作家) ほか



◇JR 東北本線 | JR大河原駅から車で約10分。

◇高速道路(東北自動車道) |

○村田ICから大河原方面へ車で約10分。

○白石ICから仙台方面へ車で約15分。

◇国道4号バイパス |

○マクドナルド、ローソンの交差点を村田IC方面(県道14号)へ。ショッピングセンターフォルテとなり。

○仙台市街から約50分

○福島市街から約1時間10分

# てくるせいじんたち -



柏木 陽 (演劇家)

1993年、演劇集団「NOISE」に参加し、劇作家・演出家の故・如月小春とともに活動。2003年にNPO法人演劇百貨店を設立。全国各地の劇場や学校などで、子どもからおとなまで、幅広い世代を対象に独自の演劇空間を作り出している。青山学院女子短期大学、大月短期大学、和光大学等で講師も務める。



片岡 祐介 (音楽家)

東京音楽大学で打楽器を学ぶ。障害者、高齢者施設、病院など様々な場所で、即興音楽セッションを行う。06年度、NHK教育TV番組「あいのて」にレギュラー出演。12年～13年、京都女子大学と京都造形芸術大学の非常勤講師を務める。



ISOPP (ダンサー)

高校1年の時、福岡でダンスを始め、BEST of BESTで優勝。RAVE2001などでメディアに露出。2002年、東京でPerfect Combustionを結成。2006年フランス開催のトータルセッションで優勝。2008年から、えぞこホールのアウトリーチ事業を展開。よしもとクリエイティブ・エージェンシー所属。NHK「ストレッチマンV」でレギュラー出演。活躍の場を広げる。



楠原 竜也 (振付家・ダンサー)  
玉川大学文学部芸術学科演劇専攻

卒業。2002年「APE」を結成・主宰。2005年よりテレーサ・ルドヴィコ(イタリア)演出『雪の女王』、『にんぎょひめ』、『旅とあいつとお姫さま』に出演し、俳優としても活動。ワークショップや、アウトリーチにも積極的に取り組む。法政大学、女子美術大学、玉川大学、国立音楽大学非常勤講師。



山田 うん (振付家・ダンサー)  
振付家・ダンサー。器械体操、バレエ、舞踏などを学び1996年より作品を発表。2000年横浜ダンスコレクションにおいて「若手振付家のための在日フランス大使館賞」を受賞し渡仏。2002年ダンスカンパニー「Co. 山田うん」を設立。第8回日本ダンスフォーラム大賞受賞。平成26年度東アジア文化交流使。芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。



神谷 未穂 (ヴァイオリン)  
パリ国立高等音楽院最高課程を修了。ティボール・ヴァルガ国際ヴァイオリンコンクールにてパガニーニ賞を受賞。プラハ室内管、ヘルシンキフィル、新日本フィル、東京フィル、東響等と共演を重ねている。仙台フィル、横浜シンフォニエッタコンサートマスター、ニューフィル千葉特認コンサートマスター、宮城学院女子大学特命教授。



田村 緑 (ピアノ)  
ロンドンのギルドホール音楽院を首席で卒業し、シティ大学院を修了。インターカレッジ・ベートーヴェン・ピアノコンクール第1位他受賞。帰国後、全国各地でコンサート活動を行う。NHK-BS「ぴあのピア」出演。(財)地域創造アーティスト。



中川 賢一 (ピアノ)

ベルギーのアントワープ音楽院ピアノ科最高課程、特別課程を首席修了。1997年オランダのガウデアムス国際現代音楽コンクール第3位。NHK FMなどに度々出演。他分野とのコラボレーションも活発。指揮では、東京室内歌劇場、広響、他と共演。NHKテレビ「名曲探偵アマデウス」、東京フィル等でピアノ演奏とトークを交えたアナリーゼ等を展開。お茶の水女子大学、桐朋学園大学非常勤講師。仙台市出身。



岩淵 吉能 (俳優)

1997年から2016年まで劇団山の手事情社所属。2009年桜美林大学非常勤講師。2010年～2012年文化学院非常勤講師。2011年からえぞこホールのアウトリーチ事業で、幼稚園、小中高等学校、障害者施設、病院、介護施設を訪問。参加者数は3歳から106歳、延べ参加人数は5000人を超える。



きむらとしろうじんじん(陶芸家)

1967年新潟生まれ。京都市立芸術大学大学院美術研究科で陶芸を学ぶ。旅回りのお茶会「野点(のだて)」は1995年からスタートし国内外で活動、その数は200か所以上にのぼる。



さとうたけし(ペイントアーティスト)  
宮城県生まれ。単身渡米し壁画技術

を身につけ、数多くのテーマパークやレストラン等の壁画を手掛ける。クラフトマンシップの要素をアート界に持ち込んだ斬新なスタイルと短時間で描くライブペイントショーは多くの海外メディアの注目を集め、多くの人々を魅了し続けている。



上田 假奈代 (詩人・詩業家)

1992年から詩のワークショップを手がけ、2001年「詩業家宣言」全国で活動。2003年コルムをたちあげ社会と表現の関わりをさぐる。「ヨコハマトリエンナーレ2014」に釜ヶ崎芸術大学が参加。2014年度文化庁芸術選奨文部科学大臣新人賞。著作「釜ヶ崎で表現の場を作る喫茶店コルム」(フィルムアート社)



安富 歩 (東京大学 東洋文化研究所 教授)

京都大学で経済学を学び、現在は東京大学東洋文化研究所教授。「魂の脱植民地化」についての自らの研究成果に基づいて、作詞・作曲・歌唱を行い、絵画も制作する。『ありのままの私』(ぴあ)など著書多数、テレビ出演なども多い。2014年より女性装で生活している。



泉山 朗土 (映像作家)

武蔵野美術大学卒。「田中忠太郎が伝える精神」展(十和田市現代美術館)「とつとつ?きおく×キロク=」展(福岡県立美術館)などに出品。全ての撮影を手掛けた「TRANSIT」©Susan Norrie(豪)が横浜トリエンナーレ2011に出展。ドキュメント映画制作など、社会活動記録の映像制作に取り組む。

